

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成 21 年 10 月 1 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170501183
法人名	株式会社 ケアプロダクツ
事業所名	グループホームあじさい 中の島
所在地	〒062-0922 札幌市豊平区中の島2条7丁目3-15ル・パルク中の島2階 (電話) 011-815-0108

評価機関名	北海道シルバーサービス振興会		
所在地	札幌市中央区北2条西7丁目かでの2. 7		
訪問調査日	平成21年9月4日	評価確定日	平成21年10月1日

## 【情報提供票より】(21年8月10日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成13年5月8日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤	9人, 非常勤2人, 常勤換算8.1人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り(耐火建築)	
	5階建ての	2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(36,000 円)	暖房費(11~3)	12,000円	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 無( )	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	350 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

### (4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	3	要介護2	2		
要介護3	0	要介護4	2		
要介護5	1	要支援2	0		
年齢	平均 79歳	最低	70歳	最高	94歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	澄川循環器・内科クリニック、ときわ病院、日之出歯科真駒内診療
---------	--------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

和楽(和やかに楽しく)の事業所独自の理念を掲げ、実践に力を入れて利用者が安心して暮らせるように、職員全員で取り組んでいる。職員数が多く、ゆとりを持って利用者一人ひとりへの関わりを多く持つことができ、利用者が事業所に閉じこもらないように散歩や買物など、日常的な外出を支援している。認知症専門医と連携を図り、利用者の家族を含めた相談や助言を受けられる様に体制を整え、訪問診療・希望するかかりつけ医への連携を図るなど、適切な医療が受診できるように支援している。食事については、献立作成から買物、調理、片付けなど一連の作業を通し、それぞれの得意分野を活かして職員と利用者が一緒に行っている。職員は委員会制に役割を分担し、記録の整理や、企画運営に関わっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議の開催不足は改善されているが職員を育てる取組みについては、さらに充実を望む。同業者との交流は改善されている。災害対策は訓練を重ね地域の協力が得られてきている。栄養面の点検は今後に期待する。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p>
	<p>前回評価の改善シートを作成して見直し、取り組むべき課題について検討している。また、自己評価項目は全職員で具体的に話し合い各自が記載した後で管理者がまとめている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では事業所での利用者の様子をビデオで紹介し、日頃の事業所での活動状況を報告している。また、災害時における地域との連携も話し合わせ、サービスの向上に活かしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>玄関に苦情箱を設置しているが利用はない。運営推進会議に家族の出席を依頼しているが、参加者は少ない。面会時には個別に話し合い、その中から意見を、くみ上げて運営に反映するように努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所として町内会に加入し、毎年開催される町内の運動会や夏祭りなど出来る限り利用者と一緒に参加し、交流に努めていビル専用のゴミステーションの清掃に協力し、地域の人々との交流を図っている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人としての理念とは別に、独自に「和楽」和やかに楽しく地域の中で暮らすことを理念として掲げて、室内に掲示している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	目につくところに掲示された理念を、職員会議や日々の申し送り時に確認し、振り返りつつ実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所として町内会に加入し、毎年開催される町内の運動会や夏祭りなど行事には利用者とともに参加している。利用者の力量に合わせてゴミステーションの清掃に協力し、地域の人々と交流を図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の改善シートを作成して見直し、取り組むべき課題について、検討している。又、自己評価項目について全職員が関わり、具体的な話し合いを行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議ではビデオで事業所の内容を映像で紹介し、日頃の事業所での活動状況を報告している。また、災害時における地域との連携も話し合わせ、サービスの向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区役所とは連携を取りながら、事業を展開している。特に、区内の連絡会議などに出席してサービスの質の向上を図っている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	隔月発行の「あじさい便り」には暮らしぶりをスナップ写真などを取り入れて解りやすく編集し、さらに担当職員がコメントを追記して家族に送っている。金銭については、予め立替払いをして精算をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に苦情の意見箱を設置しているが、今のところ利用はない。運営推進会議には家族にも参加していただき、意見が言える場面を設定している。又、面会時には直接意見を聞いて運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者と職員は馴染みの関係がとれるように配慮し、複数の担当制をとることで全職員が全利用者に関わりが持て馴染みの関係が築けるように工夫されている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部で開催される研修会に積極的に出席し、事業所内で報告し全職員で共有を図っている。事業所内や母体組織での研修の場は特に設けられていない。	○	更なるケアサービスの質の向上を図るために、母体組織内や事業所内で身近なテーマについて内部でも研修が行なわれることを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は区内の管理者会議やケア連絡会など同業者と交流の機会を持っている。同一建物内に別法人のグループホームがあり、合同の避難訓練を年に1度実施している。		
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人は勿論、家族とともに見学や話し合いを重ね、十分納得されたからの利用を開始している。また、全職員が馴染めるように配慮しながら支援をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者に寄り添い、散歩、買物、趣味など共有する時間を多く持ち、一緒に過ごすことを大切にしている。手品や習字が得意な利用者には場面づくりを支援し、出来るだけ活躍の場が持てるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者の思いを、職員全員で関わりの中から気づいた点を話し合い、利用者個々の意向を把握するように努力している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の担当職員が毎月の会議で、介護計画や実施の状況を報告話し合い、家族や本人の意向をくみ取った介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月の会議で検討し、3ヶ月毎に見直した介護計画を本人本位に作成している。家族や医療機関の意見を考慮し、現状にあった支援をしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況を配慮して様々な支援を日常的に行なっている。透析患者には適切な医療が実施されるように週2回通院の支援をしている。又、美容院の利用や通院介助など個別の対応も行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療医師は毎週来所し、必要な利用者には受診を月2回行なっている。さらに家族の希望や本人の状況に応じて適切な医療が受診できるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化が予想された時点で家族との連携を図り医師と話し合う体制になっているが、事業所としての指針は取り決めていない。	○	重度化や終末期のあり方について契約の時点で方針の共有を図り、事業所の取組状況の指針作りが求められる。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者個々に尊重し、プライバシーに配慮したかわりを重視している。個人情報の提供については同意を得ている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々の生活リズムを尊重し、職員数を多くして利用者一人ひとり個別の希望に添った支援が行えるように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立作成は、利用者の希望など取り入れて職員が作成している。さらに買物は利用者と職員で近隣の商店から購入し、利用者本位に食事が作られている。片付けなどは利用者の出番もある。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	改良された浴室で概ね週2回を目途に一人ひとりの状況を踏まえて入浴支援を行なっている。また、入浴を拒む利用者には、声掛けの工夫やそれぞれタイミングを見計らうなど柔軟に対応している。更に、異性介護を嫌う方には、同性介護を行うなどしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員は利用者の得意分野で家事などの出番をつくり、張り合いや喜びのある日常生活が送れるように支援している。花の水やり、ゴミだし、茶碗ふきなど利用者が率先して関わっている場面もある。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日課として近隣公園への散歩や買物など外出には希望に添って同行している。また、さくらんぼ狩りやお花見など戸外行事も実施している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	事業所の外玄関はマンション内の他の住人も共有のもので、24時間自由に出入りが出来る状態となっている。ユニットの出入り口は夜間のみ防犯上施錠している。日中は職員が同行する体制になっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災委員会が中心となり、年2回の自主訓練と建物内利用者の合同訓練を実施している。消防署の協力をいただき、地域の住民にも働きかけて災害対策を充実するように努力している。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日食事量・水分量のチェックを行い、摂取量の把握を行っている。現在、栄養士が退職した為、かかりつけ医の助言をもらいながら、料理本を基に利用者一人ひとりの状態に応じた献立の作成に努めている。	○	かかりつけ医の助言を受け料理本などを参考にし、個別に対応した食事を提供されている。今後カロリーやバランス面など専門家の点検が行われることが期待される。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用のスペースに手作りのカレンダーやちぎり絵など利用者の目線に合わせたメニュー板など「狭いながらも楽しい我が家」として居心地良く過ごしている。浴室は勾配や段差はあるが、職員の見守りによって安全に利用されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前は学生寮としての使用していた建物で改築してグループホームとなっている。各居室は利用者が馴染みの調度品を持ち込み、鉢植えを置いたり、飾り物を配置し、落ち着いた自分の部屋になっている。		

※  は、重点項目。